

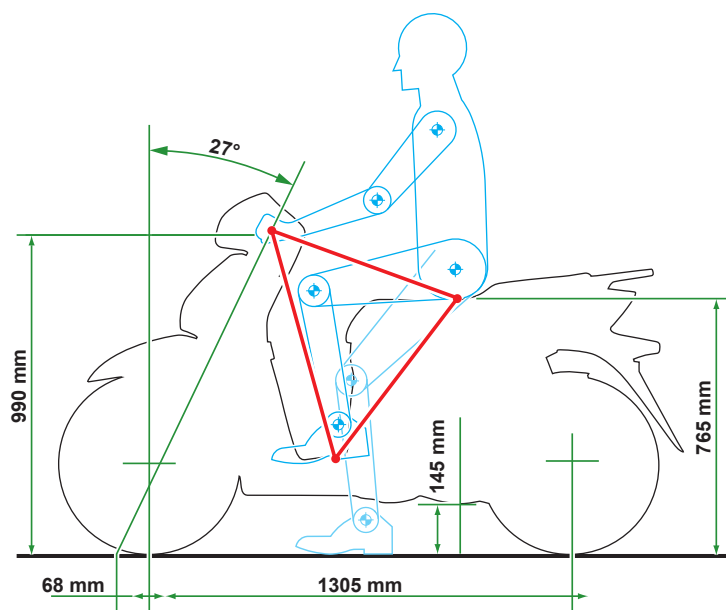
●ライディングポジション

運転時に、より広い視野を確保しやすいライディングポジションとするため、990 mmとスクーターとしては比較的高い位置にあるハンドルをさらに手前側に引き寄せることで、ライダーの背筋が、より自然にスッと伸びるアップライクな乗車姿勢を可能としました。

また、コンパクトな車体でありながら自由度の高い居住性を実現するために、レッグシールド内側形状を、乗車時の膝頭形状に配慮した凹凸のない面とし、フロア前端の幅を広くするとともにフロアをより水平に近づけました。同時に、乗車時の靴の選択幅をより広げるため、フロアとフレームの締結ボルト凹部をフロア上面から廃止しました。

さらに、パッセンジャーにも安心感のある居住空間を提供するため、ライダーの足着き性をスポイルしない可倒式幅広ステップと共に、加減速の際に体を支えやすいよう、自由度の高い位置と形状の握り部を持つアルミダイキャスト製大型リアキャリアを装備しました。

■ディメンション/ライディングポジション



■フロア回り

